



松戸市戸定歴史館 通常展 「万博・博 —1867 パリから、はじまる—」

松戸市戸定歴史館では、10月4日(土)から通常展「万博・博 —1867 パリから、はじまる—」を開催します。徳川昭武が日本の代表として参加した1867年パリ万国博覧会は、日本の国際デビューのきっかけとなりました。昭武をはじめ、昭武と共に渡欧した渋沢栄一ら万博経験者は、明治維新後の近代日本を牽引する役割を果たしました。今回の展覧会では、昭武と、彼の「御附添^{おつきそい}」としてパリ万博に随行し、後に美術・博覧会行政の中心となった山高^{やまたか}信離^{のぶあきら}の視点から、1867年から1900年までの10回に及ぶ万博を紹介します。

●会 期

令和7年10月4日(土)～令和8年1月12日(月・祝)

※休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌平日休館)

年末年始(12月28日～1月4日)

※期間中、展示替えを行います。

※作品の状態により、展示内容が変更になる可能性があります。

●場 所

松戸市戸定歴史館 展示室

●展 示 数

約80点(予定、展示入れ替え分を含めた点数)

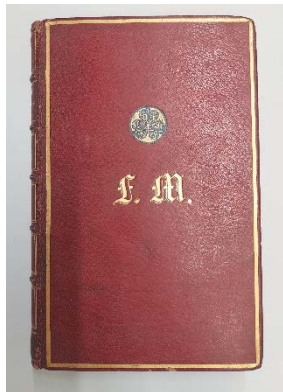
●展 示 構 成

プロローグ	万博の誕生と日本との出会い
はじまる	1867パリ
ふたたび	徳川昭武が見た万国博覧会 1876フィラデルフィア、1878パリ
はばたく	山高信離と明治の万国博覧会
エピローグ	1867パリから、つづく



やさシティ、まつど。
matsudo

●展示予定品



左:《1867年パリ万国博覧会記念 各国皇帝・国王の博覧会訪問》 42.5×50.5

1867年パリ万博に参加した各国皇帝・国王が描かれる(昭武は右から2番目の人物)

中:徳川昭武所用馬術書 ★初公開 18.5×12

パリ万博終了後、昭武の馬術教師から献呈された馬術書

右:ナイアガラ滝前の徳川昭武・土屋舉直・朝比奈一(1876年6月24日撮影) 14.5×19

1876年フィラデルフィア万博の参加のために渡米した折に撮影された写真

※寸法はすべて縦cm×横cm

●施設概要

住 所 松戸市松戸7-14-1

入館時間 9時30分～16時30分(17時閉館)

休 館 日 月曜日(休館となる日が祝日にあたるときは翌平日休館)

入 館 料 一般150円、高校・大学生100円

※戸定歴史館との共通入館券は一般320円、高大生160円

※中学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と同行者1名無料

※20名以上の団体、市内在住の70歳以上の方は団体割引料金適用

電話番号 047-362-2050(戸定歴史館)



やさシティ、まつど。
matsudo



■戸定邸とは…明治時代の徳川家の住まいがほぼ完全に残る全国で唯一の建物です。建物は国の重要文化財、旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）は国の名勝に指定されています。



■戸定歴史館とは…戸定邸を建てた徳川昭武と松戸徳川家に関する資料を収集・保存・調査研究・公開する歴史博物館。平成 3 年（1991 年）開館。登録博物館。展示は年 3 回の入替制。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-4-1

松戸市教育委員会 生涯学習部 文化財保存活用課 戸定歴史館

☎047-362-2050 FAX047-361-0056

✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp